



講師：宮澤 優 氏
(平成17年度本校卒)

国立研究開発法人
宇宙航空研究開発機構
(JAXA)
研究開発部門第一研究
ユニット
宇宙科学研究所観測
ロケット実験グループ
兼任研究開発員

平成29年12月28日(木)本校を会場にDiversity-KOJO講座が開催された。この講座は第一線で活躍する卒業生を招き卒業後のロールモデルを示すことで、生徒の視野を広げ多様なキャリアプラン構築の一助とすることや、女性研究者による講演会及び座談会を通して女子生徒のサイエンスキャリア形成を図り、国際的に活躍できる理系女性としての素養を育むことを目的としている。生徒は真剣な表情で卒業生の話に聞き入っていた。

Diversity-KOJO講座

Diversity-KOJO講座を終えて
2年理科女子

先日の講座では、講師の宮澤優さんからJAXAでの人工衛星開発についてのお話を主に聞かせていただきました。

第1部では、人工衛星がたくさんの人によって長い時間をかけて開発・打ち上げされていることを知りました。部品ごとに様々なチームがあり、それぞれが協力しながらひとつの大きなものを作っていて、宇宙に興味がある私にとっては間近で貴重なお話を聞くことができてとても感動しました。また、第2部では「働く女性」についての質問会を行いました。男性が多い職場で一生涯懸命働きながら家事・育児をこなしていくために大切なことを学びました。中でも私が印象に残ったのは「家事を手伝わない男とは結婚するな」というお話です。ごもつともだと思いません。

全体を通して、中身の濃いお話ばかりで将来に向けてとても参考になりました。仕事と家庭の両立ができる女性になれるようにがんばっていきたいです。

東北地区サイエンスコミュニティ



平成30年1月26日・27日の2日間、東北地区サイエンスコミュニティが秋田県で開催された。東北地区でSSH指定校など理数系の課題研究に積極的に取り組んでいる学校の代表生徒が、日々の研究成果を発表し交流する場である。生徒はワークショップ等で積極的に交流し、刺激を受けた。



東北地区サイエンスコミュニティに参加して感じたこと
2年理科男子

僕たちは1月26、27日に秋田市で行われた東北地区サイエンスコミュニティに参加してきました。1日目は口頭発表、2日目にポスター発表が行われました。また、口頭発表の後に別の学校の人同士で班を作って問題解決型ワークショップに取り組みました。パスタとタコ糸、テープを使ってどれだけマシマロを高い場所に置くことが出来るかを競うものでした。東北の様々な高校の人とかわることができ、とても楽しかったです。

僕は今回、火災旋風の研究成果をポスター発表の形式で発表してきました。沢山の人が発表を聞いて頂き、また、様々なアドバイスを頂きました。結果としては優秀賞を頂くことができました。ここで、満足せず、次の校内発表までに直すべきところを直し、研究を楽しんで良い発表が出来るように努力していきます。

